

熱水性細菌由来のネイティブピルビン酸脱炭酸酵素

Cat. No. NATE-1159

Lot. No. (See product label)

はじめに

 \square 明 Uルビン酸デカルボキシラーゼ(PDC)は、細胞質内でピルビン酸をアセトアルデヒドと二酸

化炭素に脱炭酸する触媒作用を持つホモテトラマ一酵素です。ピルビン酸デカルボキシラーゼは、補因子であるチアミンピロリン酸(TPP)とマグネシウムに依存しています。PDCは β - α -

 β 構造を持ち、平行な β シートを形成します。

用途 C-C結合形成: 2-ヒドロキシケトンへの2つのアルデヒド分子のエナンチオ選□的なリガーショ

ン; (R)-フェニルアセチルカルビノール (PAC) の調製

別名 ピルビン酸デカルボキシラーゼ; EC 4.1.1.1; α-カルボキシラーゼ(あいまい); ピルビン酸デ

カルボキシラーゼ; α -ケト酸カルボキシラーゼ; 2-オキソ酸カルボキシーリラーゼ; 9001-04-

1; 2-オキソ酸カルボキシーリラーゼ; PDC

製品情報

由来 好熱性細菌

形態 凍結液体

EC番号 EC 4.1.1.1

CAS登□番号 9001-04-1

最適pH 6

熱安定性 50°Cで1時間後の100%の安定性

緩衝液 20 mM トリス-HCI (pH 7.5)、20 mM KCI

単位定義 1ユニットは、ピルビン酸を基質として使用し、1分間に1 μ molのNADH(ε340=6.22 mM-1

cm-1) を酸化する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください